



加藤 紀之 議員

高齢ドライバーを守れ

町長

県の制度で事故を防ぎたい



自動車に貼られたシルバーマーク

【加藤】高齢者のペダル踏み間違いによる事故が相次いでいる。事故による被害を防ぐのはもちろんだが、高齢ドライバーを加害者にしないことも大切だ。

本町は、自動車がないと日常生活に不便をきたす。高齢者の生活を守るためにも、ペダル踏み間違い事故防止装置の設置費を補助してはどうか。

【町長】今年度、県が設置費補助金を創設す

る予定で、その制度を周知し高齢ドライバーの事故を減らしたい。

【加藤】県の制度の対象者数では少なすぎる。県に先んじてでも制度を考えるべきだ。

装置を設置する店舗を町内に限定すれば、経済波及効果も見込めるのではないか。

【町長】県の制度でカバーしきれない部分があれば、そのような方法で補うのは一つの手段だと思う。

屋外避難階段の設置を

町長

法令上の基準は満たしている

【加藤】7月に発生した京都アニメーション

放火事件で、改めて火災の恐ろしさを目の当たりにした。もし屋外避難階段が設置されていたら、被害はここまで拡大しなかったかもしれない。

本町では、屋外避難階段が設置されていない公共施設が多いのではないか。設置すべきと思う。

【町長】関係法令に適合するよう、屋内、屋外に避難階段を設置している。

総合的な火災対応が確実にできることが重要と考える。

【教育長】法令上、2方向避難が求められており、教育委員会が管理する施設でも基準は

満たしている。

【加藤】役場本庁で、

議会の本会議中に火災が発生したら、町長、管理職、議員という、重要な職責にある者が

同時に巻き込まれる危険性がある。

【町長】現状で新たに設置はむずかしいが、考慮したい。



名和公民館の屋外避難階段